

22 世紀八幡ルネッサンス運動 (略称: 八幡ルネ) 企画作業チームニュース

# ひろば

八幡市民の幸福の増進のために活動する。古い歴史を有する八幡の秀でた伝統を継承し、八幡市民の総意と英知を結集して活動する。町の隅々にわたり高い関心を払い、たくましい意志と情熱を貫いた粘り強い行動で、光とうるおいある生活と文化を享受するように努める。

目的

■発 行: 22 世紀八幡ルネッサンス運動  
企画作業チーム ひろば編集部  
■事 務 所: 八幡市八幡高畠 10-76  
TEL/FAX 075-981-6505  
090-3710-4842  
■橋本連絡所: 八幡市橋本興正 7-4 075-971-9488  
■男山連絡所: 八幡市男山指月 1-12 080-3780-6140  
■八幡連絡所: 八幡市八幡土井 135 竹島文化 2F 13 号  
■振込口座: 京都中央信用金庫八幡支店  
普通 5243582  
22 世紀八幡ルネッサンス運動

## 新年のごあいさつ



あけまして  
おめでとうございます

1998年に活動を始めた八幡ルネッサンス運動(以下「八幡ルネ」)は、2028年に丸30年を迎えます。

できれば、結成30年の記念行事を行いたいのだけれど、貧乏団体のために行事執行にともなう資金が不安で、決断には至っておりません。皆様方の大きな助けがあれば、つい甘い考えに走ってしまいます。

八幡ルネの結成以来の中心的活動である清掃活動は、自画自賛もあると思いますけれど、随分と頑張ってきたし、街も綺麗になってきたし、なによりも清掃に協力していただける姿にお目にかかる機会も増えて、それなりの役割を果たしているのではないかと考えております。

最近、気候変動のことが大きく取り上げられております。

昨年9月18日、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の首脳級会合で「達成は危機的状況にある」と強調され、  
グテレス国連事務総長は「SDGsは單なる目標の羅列ではない。人々の希望と夢、期待が込められている」と述べました。

各国が二酸化炭素排出削減に取り組み、日本でも国、地方自治体、企業、市民団体などカーボンニュートラルを目指しています。しかし大事なことは、技術革新は当然ですが、それにともなう資源や材料使用で排出される二酸化

炭素などのグローバルな見方が依然と弱いのではないかということです。  
八幡ルネもいろんなルートを通じて、活動の解決に向けて取り組みたいと思つております。

市民の皆様におかれましても、コロナやインフルエンザの流行、金権政治の横行、引き続くロシアのウクライナ侵略と、新たに発生したイスラエルのガザ殺戮という胸の痛い事柄が続く中ではあります。くれぐれも健康に留意されてお過ぎ下さるようにお願い申しあげます。

八幡 27 年 1 月 1 日 (2024 年)

呼びかけ人一同

## 《呼びかけ人》

伊藤 錆治 田久保裕 福川 肇 杉山 恵美 石川 未来子 村岡 時男 天野 みどり 石野 喜幸 伊藤 文彦 貝通 丸哲也 所埜 聖司 谷本 信義 立花 ヒロコ 高橋 千代子 神田 長子 土井 三郎 藤原 洋 日高 幹夫 出口 修 山口 克浩 武田 守治 堀江 正彦 宇治川 春子 中村 久雄 齢田 潤子 須藤 邦弘 沢田 三彦 猪飼 康夫 中野 玉美 松川 啓子 伊佐 錆治 中井 恵美子 福田 英正 佐藤 長作 竹萬 滉 田中 和 杉山 隆 小川 和彦 鍋川 浩二 堀涉 東龍一 藤田 直子 吉川 せい子 小山 愛子 武部 輝雄 その他 2 名 計 47 名

## 石炭火力発電について考える

佐藤 長作

2023年3月時点 (Japan Beyond Coal の資料) で、石炭火力発電所は、運転中.. 170 基、計画中.. 1 基、建設中.. 3 基となっています。石炭火力は発電量に対する二酸化炭素の排出量が最多で、同じ発電量で LNG(液化天然ガス) 火力の 2 倍の量を排出します。

なぜ、石炭火力発電所の建設推進を止められないのでしょうか。推進側の経済的意図から考えてみます。原子力発電や水力発電に比べて建設費が安い、電源立地の制約が少ないなどがあげられます。

神戸市灘区には、全国で唯一、住宅地の真ん中で石炭火力発電 4 基が稼働しています。2022年2月、2023年2月に新たに 2 基が稼働しました。旧 2 基は約 10 年稼働しています。工場敷地内で立地の制約はほとんど無かったのでしょうか。

しかし、世界では排出量ゼロを目指す活動が進められています。なぜ新規

動への励みにしたいと思っております。もし、都合により辞退したいとの申し入れがあった場合には、すぐに辞退として取り扱いさせていただきたいと思います。呼びかけ人になつていただいた方は、夏の「暑中見舞い」と冬の「新年あいさつ」にお名前を掲載させていたいと思います。

呼びかけ人にご賛同いただけるお気持ちは、事務所か近くの会員までご連絡をお願い申し上げます。

呼びかけ人にご賛同いただけるお気持ちは、事務所か近くの会員までご連絡をお願い申し上げます。

の石炭火力発電所 2 基の新たな建設なのでしょうか。

日本は国内で石炭火力発電を推進しているばかりでなく、公的資金で中国に次ぐ世界第 2 位の規模で海外での石炭火力を支援し、国際的な批判を浴びています。日本の主な支援先の一つがインドネシアです。

インドネシアの石炭火力発電事業は、いずれも、日本政府出資 100% の国際協力銀行 (JBIC) や、政府開発資金援助を行う国際協力機構 (JICA) が支援。政府の「インフラ輸出戦略」に合致するとの理由からです。事業を実施する各現地法人は、電源開発 (Jパワー) や関西電力、JERA (中部電力) と東京電力の共同出資会社、伊藤忠、住友商事、丸紅などが出資しています。これらは、国内での制約から海外に販路を求める企業の利益追求の姿ででしょう。

それは、現地での発電所設計に現れる装置なども装備せず、現地のゆるい基準に合わせていることです。自然環境に考慮することなく、コスト重視の姿勢が見え隠れしています。

建設予定地は肥沃な土地でしたが、強制収用され、漁民はふ頭をつくる漁港の不法投棄で漁網の被害を受けています。

二酸化炭素を大量にまき散らし、その土地の生活や自然を壊すプロジェクトが支持されることはないでしょう。経済 (利益) 優先の価値観は、どこへ進んでいくのでしょうか。立ち止まつて考えてみましょう。

日々からご賛同をいただきまして、活

## 大谷川清掃レポート 2023・12・30

### マンリョウ

マンリョウは暖地の林に生えるサクラソウ科の常緑低木です。実は冬に真っ赤に熟し、ナンテンやセンリョウとともに正月の飾り花に使われます。(以前はマンリョウ科でしたがAPG分類体系でサクラソウ科になりました)

商売繁盛の縁起植物として、セン

リョウ、アリドオシと合わせて、「千両、万両、有り通し」と縁起かつぎ

鳥類は人間と色覚がよく似ている  
そうです。赤い色は緑の補色で、鮮明なコントラストを生み出す目立つ  
色です。

赤い実はつやつやして美味しそう  
に見えますが、鳥には「まづく」で  
人気がないようです。

植物生態学者によると、実を美味しくするには貴重な栄養分を分配しなければならないので「外皮だけを  
美味しそうに見せている説」。美味しくしてしまふと鳥は好きなだけそ  
の場所にとどまり食べつくしてしま  
い、種子がほかの場所に運ばれない  
という「わざとまづくしている説」。  
マンリョウの種子は発芽阻害物質  
を含んでいて、そのまま蒔いたので  
は芽が出ません。鳥の消化管を通つ  
てはじめて芽が出るよう細工され  
ています。同じ場所で芽が出るのを  
防いでいるようです。

また葉の縁には葉瘤があり、窒素  
固定を行う共生バクテリアが囲われ  
ています。葉を透かすと赤黒い点は  
固定を行なう共生バクテリアが囲われ  
ています。葉を透かすと赤黒い点は

「油点」と呼ばれ、防衛成分の貯蔵庫です。機会があれば葉を観察してみてください。

舞台大谷川の清掃は、河原の除草作業を重点に3名で行いました。今年は、酷暑のために除草作業が何度か中止になりました。そのため、草が生い茂る状態でした。次の年の芽吹きが始まるまでには、橋と橋の間の除草を済ませたいと考えています。

山路大谷川の清掃は、プラごみ回収や、土砂の撤去を行いました。また、Nさん家族は、第二京阪沿いのプラごみなどのゴミ拾いで、70リットル「ミニ袋で3袋回収しています。

◆12月3日、第96回舞台・大谷川清掃は5名の参加で、70リットルボリ袋19袋、土嚢1袋回収しました。

◆12月24日、第177回山路・大谷川清掃は8名の参加で、土嚢袋換算115袋回収しました。

### 【第178回

#### 山路・大谷川の清掃のご案内

■日時：1月28日（日）  
午前9時半～正午（雨天中止）

■集合：旧あづま屋  
(コノミヤ裏八幡源氏垣外)

※会場設営にご協力いただける方  
は、集合時刻の30分～1時間前に現  
地にお集りください。  
※用意して頂く物…厚手の手袋。  
の他の必要な物は用意します。

【第98回  
舞台・大谷川の清掃のご案内】

■日時：2月4日（日）  
午前9時～11時半（雨天中止）  
■集合：大谷橋下流の休憩所  
(ベンチあり)  
※会場設営・用意して頂く物は山路・  
大谷川と同様です。

《主催》NPO法人22世紀八幡ルネッサンス協会  
連絡先：八幡市八幡高畠10-76  
TEL 075（981）6505  
携帯090・3710・4842

由によるが、ハイキングを楽しむには絶好なルートであり、安全が確保され、復活するよう望むものである。



石清水

巫女の手の神矢あらたか石清水



八幡宮の神矢は、元寇の折、勅命  
によって叡尊が石清水にて敵国調伏  
の祈祷を行った際、石清水より発せ  
られた神矢が暴風雨をもたらし、そ  
のため蒙古軍が退散したという神話  
に基づく。以来、武運長久はもとよ  
り、武芸の上達、開運、招福をもたら  
す矢として信奉された。正月、本  
殿に立てられる2本の大竹は男山か  
らもたらされることがある。



巫女の手の神矢あらたか石清水

円福寺  
今年また大根吊す修行寺

八幡福禄谷にたたずむ円福寺は、  
妙心寺派の古刹であり、修行の寺と  
して知られる。例年、冬になると、

山門前の銀杏の大木に大根が吊さ  
れていた。ひだまりコース・こも  
れびコース・さざなみコースがそれ  
である。こもれびコースは、男山レ  
クリンを出発し、標高142mの  
鳩ヶ峰山頂を経て神応寺の境内をぬ  
けるコースである。四季折々の表情  
を見せ、冬になれば枯葉を踏みつ  
歩むことになる。見晴らしの良い所  
もあり足腰が鍛えられる。そのこも  
れびコースが2023年3月に閉鎖  
された。安全が保障できないとの理



天明3年（1783）に創建された。  
山門の前の銀杏の大木に大根が吊さ  
れる。偶々訪れた日が、修行僧（雲水）  
によつて大根を吊し上げる作業日で  
あつた。千本の大根は、すべて托鉢  
によつて頂いたとのこと。天日干し  
され、沢庵などに供されるが、その  
の大根の美味しかつたこと！